

2020年度 第11期

事業報告

自 2020年4月 1日

至 2021年3月31日

公益財団法人 黒住医学研究振興財団

黒住医学研究振興財団は1993年に設立され、2010年7月1日より公益財団法人としての認定を受けている。公益財団法人として第11期目となる本年度は、定款に従い下記の各事業を遂行した。

2020年度は、理事会を、2020年4月1日、4月20日、7月3日、9月18日、2021年1月15日、2月19日、3月12日の計7回、評議員会を、2020年5月25日、2021年3月26日の計2回開催した。また、各選考委員会は、2020年9月4日、9月18日、2021年2月19日、3月12日の計4回開催した。

各理事会・評議員会における議題は次の通りであり、議案については全て出席した理事・評議員全員により承認された。

【理事会】

第73回理事会（2020年4月1日開催）書面表決 理事数11名 監事数2名

1. 第55回小島三郎記念技術賞受賞者決定の件

第74回理事会（2020年4月20日開催）書面表決 理事数11名 監事数2名

1. 2019年度事業報告（案）・2019年度決算報告（案）承認の件
2. 本財団が保有する株式について、その株式に係る議決権を行使しないことへの承認の件

第75回理事会（2020年7月3日開催）出席者 理事11名中8名 監事2名中2名

1. 第56回小島三郎記念文化賞推薦票の確認、予備選考
2. 第28回研究助成金に係わる分野別審査委員及び選考委員の確認及び決定
3. 基本財産の運用について

第76回理事会（2020年9月18日開催）出席者 理事11名中10名 監事2名中2名

1. 第56回小島三郎記念文化賞受賞者の決定
2. 第28回研究助成金の贈呈対象者と金額の決定
3. 2021年度・2022年度技術賞・福見賞選考委員改選について
4. 2021年度の贈呈式会場及び日程について
5. 10月の贈呈式及びWeb会議について
6. 理事長・常務理事からの業務報告（2019.10.1~2020.3.31）

第77回理事会（2021年1月15日開催）書面表決 理事数11名 監事数2名

1. 2021度における会議及び事業計画の策定
2. 2021年度・2022年度理事・監事改選について
3. 2021年度・2022年度選考委員改選について
4. 理事長・常務理事からの業務報告（2020.4.1~2020.9.30）

第78回理事会（2021年2月19日開催）出席者 理事11名中8名 監事2名中2名

1. 第40回福見秀雄賞受賞者の決定
2. 第56回小島三郎記念技術賞の予備選考
3. 贈呈式における特別講演の演者及び演題の選定
4. 2021年度・2022年度理事・監事及び文化賞選考委員・研究助成金選考委員について
5. 2021年度事業計画（案）、2021年度予算（案）並びに2020年度収支予測
6. 評議員会開催の件

第79回理事会（2021年3月12日開催）出席者 理事11名中10名 監事2名中2名

1. 第56回小島三郎記念技術賞受賞者の決定
2. 小島三郎記念文化賞新任選考委員の選定・承認
3. 理事・監事候補者並びに評議員補充候補者の決定及び評議員会への推薦の件
4. 栄研化学株式会社からの寄付の件

【評議員会】

第26回評議員会（2020年5月25日開催）書面表決 評議員数10名

1. 2019年度の事業報告（案）承認の件
2. 2019年度の決算報告（案）承認の件

第27回評議員会（2021年3月26日開催）書面表決 評議員数10名

1. 2021年度事業計画（案）、2021年度予算（案）の承認の件

【各選考委員会の開催】

第28回研究助成金選考委員会（2020年9月4日開催）出席選考委員8名

1. 第28回研究助成金受贈候補者の選考・決定

第56回小島三郎記念文化賞選考委員会（2020年9月18日開催）出席選考委員14名

1. 第56回小島三郎記念文化賞受賞候補者の選考・決定

第40回福見秀雄賞選考委員会（2021年2月19日開催）出席選考委員10名

1. 第40回福見秀雄賞受賞候補者の選考・決定

第56回小島三郎記念技術賞選考委員会（2021年3月12日開催）選考委員数14名

1. 第56回小島三郎記念技術賞受賞候補者の選考・決定

各事業の詳細は次の通りである。

I. 研究助成事業

本財団定款第4条第1項第1号に規定される研究助成事業は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査ならびに研究の領域でより優れた学術研究・業績テーマに対して助成するものである。

研究助成の対象は、医学関連の大学、教育機関、研究所、及び医療機関等において、当該事業の目的に従事している者から応募申請を募り、申請内容を各専門分野の審査委員が採点した後、選考委員会で慎重に審議して研究助成の対象者を決定するものである。

当該事業は、1993年（平成5年）から開始しており、本年度の研究助成金選考委員会は、第28回目に当たり9月4日に開催し、受贈候補者15名と助成金額案を決定し、理事会に答申した。9月18日に行なわれた理事会において研究助成金の受贈者と金額を決定した。申請件数は220件で、そのうち15件（15名）に研究助成金を贈呈することとした。なお、研究助成金の贈呈式は、2020年10月30日に延期していた小島三郎記念技術賞並びに福見秀雄賞の贈呈式と併せて東京會館（東京都千代田区丸の内）にて行なわれた。対象者の氏名、研究課題は次のとおりである。

【研究助成金の受贈者 第28回】

1. あめみや けんじ 雨宮 健司

（所属機関）山梨県立中央病院ゲノム解析センター/検査部ゲノム検査科 主任臨床検査技師
（研究課題）「オンコマイン Dx Target Test マルチ CDx システムにおける既存細胞診検体の有用性の検討」
（助成金額）100万円

2. いのうえ ひろふみ 井上 博文

（所属機関）岡山大学病院医療技術部 臨床検査技師
（研究課題）「テラヘルツ波ケミカル顕微鏡式腫瘍量評価装置を用いたリキッドベース検体固定法の開発」
（助成金額）100万円

3. ^{うすい しんいち} 臼井 真一
(所属機関) 岡山大学大学院保健学研究科 准教授 保健学博士
(研究課題) 「冠動脈疾患における HDL サブクラスおよび HDL 代謝関連蛋白の測定意義の確立」
(助成金額) 100 万円
4. ^{うめむら ひろし} 梅村 啓史
(所属機関) 日本大学医学部病態病理学系臨床検査医学分野 准教授 医学博士
(研究課題) 「質量分析法によるインドール血中濃度の測定と悪性黒色腫への臨床応用」
(助成金額) 100 万円
5. ^{おおいし なおき} 大石 直輝
(所属機関) 山梨大学大学院総合研究部医学域人体病理学講座 講師 医学博士
(研究課題) 「節外性 NK/T 細胞リンパ腫の予後を効率よく層別化できる病理学的スキームの開発」
(助成金額) 100 万円
6. ^{おおた ゆうすけ} 太田 悠介
(所属機関) 浜松医科大学医学部附属病院 検査部 臨床検査技師
(研究課題) 「マルチオミクス解析を用いた薬剤耐性を引き起こす小型コロニー形成細菌の臨床検査法の確立」
(助成金額) 100 万円
7. ^{おおやま かなめ} 大山 要
(所属機関) 長崎大学生命医科学域 (薬学系) 准教授 薬学博士
(研究課題) 「新型コロナウイルス(SARS-Co-V2)感染後に出現する抗体が認識するウイルス抗原についての研究」
(助成金額) 100 万円
8. ^{おくでら こうじ} 奥寺 康司
(所属機関) 横浜市立大学医学部病態病理学講座 准教授 医学博士
(研究課題) 「病理画像解析を用いた分類不能間質性肺炎の予後指標の確立」
(助成金額) 100 万円
9. ^{こさきい こうすけ} 小佐井 康介
(所属機関) 長崎大学病院検査部 助教 医学博士
(研究課題) 「赤外分光法を用いた新しい薬剤耐性菌タイピング法の微生物検査への活用」
(助成金額) 100 万円
10. ^{さかい せつ} 澤井 摂
(所属機関) 千葉大学大学院医学研究院機能形態学 助教 医学博士
(研究課題) 「脱髄型ギラン・バレー症候群における抗 moesin 抗体の病的意義の解明と ELISA キットの開発」
(助成金額) 100 万円
11. ^{しもむら だいき} 下村 大樹
(所属機関) 公益財団法人天理よろづ相談所病院臨床検査部 副技師長 医学博士
(研究課題) 「凝固波形解析を用いた凝固時間延長の要因ならびに凝固線溶波形解析を用いた血栓・出血傾向の鑑別システムの構築」
(助成金額) 100 万円

12. ^{むらかみ こうすけ}村上 耕介
 (所属機関) 国立感染症研究所ウイルス第二部 主任研究官 農学博士
 (研究課題) 「成人由来ヒトノロウイルスの感染効率改善によるノロウイルス培養系の改良の研究」
 (助成金額) 100 万円
13. ^{もりもと こうぞう}森本 耕三
 (所属機関) 公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部／複十字病院
 研究員／医長 医学博士
 (研究課題) 「大規模抗酸菌データ解析による非結核性抗酸菌症のサーベイランス体制を構築する研究」
 (助成金額) 100 万円
14. ^{やまぐち こういち}山口 孝一
 (所属機関) 恵寿金沢病院 臨床検査技師
 (研究課題) 「好中球細胞外トラップス (NETs) の定量化を目的とした検討」
 (助成金額) 100 万円
15. ^{ゆき のぞみ}遊佐 希
 (所属機関) 国立病院機構東京医療センター臨床研究(感覚器)センター 研究員 獣医学博士
 (研究課題) 「5 コピーから高感度定量が可能な新型コロナウイルス PCR 検査法の標準化と人材育成を目的とした萌芽的研究」
 (助成金額) 100 万円

計 15 名 研究助成金総額 1,500 万円

※ 所属機関および肩書等は、2020 年 9 月 30 日時点

II. 顕彰事業

本財団の定款第 4 条第 1 項第 2 号及び第 3 号に規定されている顕彰事業は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する優れた研究成果に対する顕彰並びに臨床検査技師及び衛生検査技師の人材育成に優れた成果を収めた者に対する顕彰である。これにより学術及び科学技術の振興並びに医療・公衆衛生の向上を図るとともに、国民の健康と福祉の向上に寄与する事業で、「小島三郎記念文化賞」、「小島三郎記念技術賞」、「福見秀雄賞」があり、各賞とも毎年 1 回贈呈している。

① 【小島三郎記念文化賞】第 56 回の贈呈

小島三郎記念文化賞は、病原微生物学、感染症学、公衆衛生学その他これらに関連した領域において、学問的に顕著な業績で、しかも我が国の文化に貢献したと思われる研究成果に対して贈呈するものである。

同賞の候補対象者については、大学の衛生学、公衆衛生学、微生物学、寄生虫学、感染症学、病理学、免疫血清学の教授、各都道府県衛生部長、衛生研究所長、小島三郎記念文化賞受賞者等から推薦を得た候補者について、申請書類の推薦理由、研究歴、発表論文等を基に選考委員会で慎重に審査した上で、優秀な業績のあった者に贈呈を決定するものである。

当該事業は、1965 年（昭和 40 年）から開始しており、本年度の小島三郎記念文化賞は第 56 回目となる。選考委員会を 9 月 18 日に開催し、候補対象者 10 名を慎重に審査したが、本賞受賞に該当する候補者がいない旨を決定し、同日行なわれた理事会に答申し、第 56 回小島三郎記念文化賞は「該当者なし」と決定した。

② 【小島三郎記念技術賞】第 55 回の贈呈

小島三郎記念技術賞は、臨床検査ならびに衛生検査領域において優れた検査方法、術式の考案改良を行い、また、検査技術の普及発展に功績のあった実務者（技師）に贈呈するものである。

贈呈する対象は、各都道府県衛生部長、衛生研究所長、各都道府県臨床衛生検査技師会長、

検疫所長、大学病院中検部長、小島三郎記念技術賞受賞者等から推薦を得た候補者について、申請書類の推薦理由、研究歴、ならびに論文等を各専門分野の審査委員が採点した後、選考委員会で慎重に審査した上で、優秀な業績のあった者に贈呈を決定するものである。

当該事業は、1966年（昭和41年）から開始しており、本年度の小島三郎記念技術賞は第55回目となる。今回は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により選考委員会を選考委員全員での書類審査・投票を行い、2020年3月25日に候補対象者13名から受賞候補者4名を決定し、後日書面評決による理事会に答申し、本賞受賞者4名を2020年4月1日に決定した。この第55回小島三郎記念技術賞受賞者の氏名、所属及び業績は次の通りである。

なお、同賞の贈呈式は2020年6月12日、東京會館（東京都千代田区丸の内）にて予定していたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により10月30日に延期し、研究助成金の贈呈並びに福見秀雄賞の贈呈と併せて行われた。

1. 石毛 崇之

（所属機関） 千葉大学医学部附属病院検査部 臨床検査技師 医学博士

（業績の題目） 「遺伝子関連検査法の開発・臨床応用と質量分析によるビタミンD代謝動態解析」

2. 大川 龍之介

（所属機関） 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科先端分析検査学分野 教授 理学博士

（業績の題目） 「様々な脂質代謝関連項目の測定法の開発および生理学的意義の解明」

3. 大崎 博之

（所属機関） 神戸大学大学院保健学研究科病態解析学領域 准教授 医学博士

（業績の題目） 「尿中ポドサイトの検出による糸球体腎炎・半月体形成の非侵襲的検査法の開発」

4. 西田 睦

（所属機関） 北海道大学病院検査・輸血部／超音波センター

臨床検査技師長／副部長 医学博士

（業績の題目） 「造血幹細胞移植後の肝類洞閉塞症候群に対する体外式超音波検査による無侵襲診断法の開発」

※ 所属機関および肩書等は、2020年3月31日時点

③ 【福見秀雄賞】第39回の贈呈

福見秀雄賞は、臨床検査ならびに衛生検査領域に半生を捧げ、技術の開発、向上に努力し、その領域の発展への指導的役割および人材育成に貢献のあった者に贈呈するものである。

贈呈する対象は、各都道府県衛生部長、衛生研究所長、各都道府県臨床衛生検査技師会長、検疫所長、大学病院中検部長、小島三郎記念技術賞受賞者、福見秀雄賞受賞者等から推薦を得た候補者について、申請書類の推薦理由、職歴、ならびに論文等の概略を確認し選考委員会で慎重に審査した上で、優秀な業績のあった者に贈呈を決定するものである。

当該事業は、1980年（昭和55年）から開始しており、本年度の福見秀雄賞は第39回目となる。選考委員会を2020年2月28日に開催し、候補対象者12名から受賞候補者4名を決定し、同日行われた理事会に答申し、本賞受賞者4名を決定した。この第39回福見秀雄賞受賞者の氏名、所属及び業績は次のとおりである。

なお、同賞の贈呈式は2020年6月12日、東京會館（東京都千代田区丸の内）にて予定していたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、10月30日に延期し、研究助成金の贈呈並びに小島三郎記念技術賞の贈呈と併せて行われた。

（業績） 「臨床検査ならびに衛生検査領域に半生を捧げ、技術の開発・向上に努力し、その領域の発展への指導的役割および人材育成に貢献した」

1. 石井 清
(所属機関) 順天堂大学医学部附属練馬病院臨床検査科 技師長
2. 及川 信次
(所属機関) 前 獨協医科大学病院臨床検査センター 技師長
3. 司茂 幸英
(所属機関) つくば国際大学医療保健学部 非常勤講師
4. 坂場 幸治
(所属機関) 元 防衛医科大学校病院検査部 技師長

※ 所属機関および肩書等は、2020年3月31日時点

④ 【小島三郎記念技術賞】第56回の選考および決定

小島三郎記念技術賞は、臨床検査ならびに衛生検査領域において、優れた検査方法、術式の考案改良を行い、また、検査技術の普及発展に功績のあった実務者（技師）に贈呈するものである。

贈呈する対象は、各都道府県衛生部長、衛生研究所長、各都道府県臨床衛生検査技師会長、検疫所長、大学病院中検部長、小島三郎記念技術賞受賞者等から推薦を得た候補者について、申請書類の推薦理由、研究歴、ならびに論文等を各専門分野の審査委員が採点した後、選考委員会で慎重に審査した上で、優秀な業績のあった者に贈呈を決定するものである。

2021年度における第56回小島三郎記念技術賞の推薦の受付は2020年12月1日より2021年1月31日までに行い、その後同選考委員会を3月12日に開催し、受賞候補者10名から4名の候補者を決定して理事会に答申した。同日行なわれた理事会において候補者4名を受賞者として決定した。この第56回小島三郎記念技術賞受賞候補者の氏名、所属及び業績は次の通りである。

なお、同賞の贈呈式は2021年6月11日、東京會館本館（東京都千代田区丸の内）にて開催の予定である。

1. 佐野 成雄
(所属機関) 大分大学医学部附属病院医療技術部臨床検査部門 副臨床検査技師長
(業績の題目) 「生理機能検査における臨床研究および機器開発と検査法の実用化」
2. 中川 央充
(所属機関) 慶應義塾大学病院臨床検査技術室臨床検査科 臨床検査技師 医学博士
(業績の題目) 「LC-MS/MSを用いた包括的DNAメチル化解析法の改良とその評価」
3. 樋口 由美子
(所属機関) 信州大学医学部保健学科検査技術科学専攻
病因・病態検査学領域 講師 医学博士
(業績の題目) 「シトルリン化フィブリノゲン測定系の確立と感染症におけるその動態の解明」
4. 山西 八郎
(所属機関) 天理医療大学医療学部臨床検査学科 教授 保健学博士
(業績の題目) 「総鉄結合能の全自動分析法の開発ならびに多変量解析による検査成績と病態との因果解析」

※ 所属機関および肩書等は、2021年3月31日時点

⑤ 【福見秀雄賞】第40回の選考および決定

福見秀雄賞は、臨床検査ならびに衛生検査領域に半生を捧げ、技術の開発、向上に努力し、その領域の発展への指導的役割および人材育成に貢献のあった者（実務者）に贈呈するものである。

贈呈する対象は、各都道府県衛生部長、衛生研究所長、各都道府県臨床衛生検査技師会長、検疫所長、大学病院中検部長、小島三郎記念技術賞受賞者、福見秀雄賞受賞者等から推薦を得た候補者について、申請書類の推薦理由、職歴、ならびに論文等の概略を確認し選考委員会で慎重に審査した上で、優秀な業績のあった者に贈呈を決定するものである。

2021年度における第40回福見秀雄賞の推薦の受付は、2020年12月1日より2021年1月31日まで行い、その後同選考委員会を2月19日に開催し、受賞候補者10名から4名の候補者を決定して理事会に答申した。同日行なわれた理事会において候補者4名を受賞者として決定した。この第40回福見秀雄賞受賞候補者の氏名、所属及び業績は次の通りである。

なお、同賞の贈呈式は2021年6月11日、小島三郎記念技術賞の贈呈と併せて東京會館（東京都千代田区丸の内）にて開催の予定である。

（業績）「臨床検査ならびに衛生検査領域に半生を捧げ、技術の開発・向上に努力し、その領域の発展への指導的役割および人材育成に貢献した」

1. 雨宮 憲彦

（所属機関） 前 山梨大学医学部附属病院検査部 副検査部長兼臨床検査技師長

2. 岩井 宗男

（所属機関） 前 滋賀医科大学医学部附属病院検査部 副臨床検査技師長

3. 田中 佳

（所属機関） 金沢医科大学病院医療技術部検査部門 副部長兼技師長

4. 中山 茂

（所属機関） 前 千葉県こども病院 検査部部長
株式会社サンリツ 臨床検査事業本部最高顧問

※ 所属機関および肩書等は、2021年3月31日時点

III. 学術講演会

2020年度は、6月12日に東京會館で開催することを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、感染予防のためにやむなく中止とした。

IV. 公益財団法人登記後の対応

- ① 2019年度事業報告書等に係る提出書（1. 財産目録、2. 役員等名簿、3. 理事、監事及び評議員に対する報酬等の支給の基準を記載した書類、4. 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 第129条第1項（同法第199条において準用する場合を含む）に規定する計算書類等、5. 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第28条第1項第2号に掲げる書類、6. 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第28条第2号及び第3号に掲げる書類、7. 滞納処分に係る国税及び地方税の納税証明書）を2020年6月26日に内閣府へ提出した。
- ② 2021年度事業計画書等に係る提出書（1. 事業計画書、2. 収支予算書、3. 資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類、4. 1から3までに掲げる書類について理事会、評議員会の承認を受けたことを証する書類）を2021年3月31日に内閣府へ提出した。

以上